

# ちようふ環境市民会議 第10回定期総会

2018・5・20(日)

14:30 ~ 16:30 受付 14:00~

会場: 調布市教育会館 201

## 議事次第

1. 開会挨拶

2. 議長選出・定足数確認・書記任命

3. 議事進行

第1号議案 2017年度事業報告 ..... P. 1

第2号議案 2017年度収支報告..... P. 6

第3号議案 2017年度監査報告..... P. 7

第4号議案 2018年度事業計画案..... P. 7

第5号議案 2018年度予算案 ..... P. 10

4. 議長・書記 解任

5. 閉会

## ■第1号議案

## 2017年度事業報告

### ○2017年度活動方針

○規約にかかげた活動目的・方針にもとづき、活動を楽しんでいます。

東日本大震災後、都市に住む市民の暮らし方が問われています。暮らしを根本から見直し行動する「私から始めるエコライフ」の活動に引き続き取り組みます。

調布市の自然環境をはじめとする「環境」について、環境を考える市民・事業者・団体に向けて活動で得られた情報や知恵を共有できるよう活動していきます。環境基本計画では、ちょうふ環境市民会議が市民・活動団体・企業等との連携を図るプラットフォームとして位置づけられています。環境基本計画の進捗状況のチェックをはじめ、会員はちょうふ環境市民会議の場を使って環境保全を推進する活動に取り組みます。

○今後求められるデータの収集・保管、人材登録活用の事業展開のためにも、活動拠点（事務所）の確保について検討していきます。

### ○2017方針にもとづき活動しました

- ・平成28年度施行の調布市環境基本計画（2016—2026）には、ちょうふ環境市民会議が市民団体・事業者・行政と連携をとりながら推進体制を担う市民組織として位置づけられています。年度後半になって市との懇談会の場で、民間に委託したワークショップのスケジュール説明などの会議が続き、本来の懇談会としての議論ができませんでした。改めて「市民会議からの提案」を行い、ちょうふ環境市民会議の位置づけと懇談会の意義について行政と相互に再検討し確認しました。
- ・佐須地域の公有地化した土地活用について、伐採に関する要望について政策提案をしました。その結果、「深大寺佐須協議会」が設置されました。
- ・2009(平成21)年3月の設立から9年が経ち、活動拠点の確保について行政と検討しましたが、実現していません。

## 1. 組織運営報告

### 理事会（理事10名 及び監事1名）

- ・定例理事会を年12回、臨時理事会を1回開催しました。
- ・自主事業の年間活動計画を作成、佐須地域への理解を深めるためのイベントに取り組みました。
- ・受託事業業務管理については、業務ごとに担当理事を決め、事務局と連携し業務を実施しました。
- ・環境政策課の要請で、受託事業者の行った環境基本計画推進検討ワークショップへの参加及びアンケートについて会員メーリングリストを使って協力しました。
- ・行政との懇談会（環境政策課及び緑と公園課）を3回行う中で、環境基本計画の協働推進の在り方、市民会議の位置付けについて、文書提案をおこないました。平成30年度予算要望書を提出し、2018・3月議会終了後に回答を得ました。
- ・環境市民会議として、多摩川情報館受託者プロポーザル選定委員の推薦を行いました。

## 運営会議（環境市民会議会員 計60名が出席）

年間5回実施。第1回（5/27）と第2回（6/7）は、主に2017年度環境活動団体交流会のやり方についての話し合い。第3回（8/9）はH28年度末に策定された環境基本計画の重点プロジェクトの内「深大寺・佐須地域環境資源 保全・活用基本計画」に関連して意見交換をしました。第4回（10/11）と第5回（12/13）は布田崖線ウォークと2018年度の交流会などについて話し合いを行いました。

## 事務局（事務局長1 / 局員1 / 会計1で構成）

- ①2018(平成29)年度事業計画の年間進行管理を行いました。理事会・運営会議議題案の作成や資料準備や議事録、個人会員・団体会員に対する連絡、会計業務（受託会計含む）など、事務一切を担当しました。
- ②また、会員ML（メーリングリスト）の管理、及び連絡事項の発信を行いました。役員MLにて情報共有をはかり、理事会に報告しました。
- ③WEB（HP・フェイスブック）による情報発信も担当しました。
- ④受託事業の業務管理  
事務局(2名)が各PJの進捗報告をもとに、行政との連絡調整・進行管理を行い、年度末に業務の収支決算報告・監査報告及び業務報告書（全91ページ・CDR）を作成、提出しました。

## 会員動向 【2017年度末 会員数】（ ）内は昨年度実績

個人会員：49（55） 団体会員：13（16） 法人会員：5（3） / サポート会員：14（10）

## 2. 事業報告

### <自主事業>

#### （1）交流事業

##### ①雑木林連絡会（担当：安部・大村）

出席団体：7団体（入間・樹林の会／カニ山の会／若葉緑地の会／若葉の森3・1会／凸凹森の会／ちょうふ環境市民会議／緑と公園課）

コーディネート事業として位置づけ、雑木林連絡会の事務局を担当しています。4回開催しました。第1回 5月24日、第2回9月20日。第3回11月25日（安全講習会：若葉町第3緑地にて、参加者8名）、第4回1月31日（水）。

また、2015（平成27）年度に実施した自主事業の国分寺崖線ウォークを継続して行うために、予算要望を継続しておこなってきましたが、2017年度にも予算化されませんでした。ちょうふ環境市民会議の自主事業としてプレ企画が理事会で承認され、その後凸凹森の会がルートを検討、布田崖線ウォークを1月27日（土）実施しました（参加者19名）。

##### みどりの国分寺崖線ウォーク予算要望

2015（平成27）年度に自主事業として実施した国分寺崖線ウォークを市事業として継続して行うために、8月30日（水）に7団体による検討会議を開きました。その結果を踏まえ、9月30日付環境市民会議からの「平成30年度予算確保にむけての要望」に35万円の計上を盛り込み環境部に提出、平成30年度緑と公園課事業として予算化されました。

## ②イベント参加・活動PR (担当：紺野 他)

### ・アースデイ in 調布 5/13(土) 市役所前庭

苗木の販売、シュロなどを使ったクラフト(会員外の方にお願ひした)カニ山会員のコップ作りなどを開催。「もりのちず 若葉町・入間町編」「佐須マップ」の説明配布には募金をしてくださった方々もいました。寄付金含む売上4,724円。

### ・青年会議所主催「わんぱく相撲」5/14(日)アトラクション参加 調和小学校 スタッフ3名 「森の工房」ブースにて多摩川の石を使ったストーンペイントとして自由に絵を描いてもらいました。小石は200個ほど用意しましたが、ほぼ無くなりました。青年会議所より1万円の謝礼を頂きました。

### ・調布市主催「環境フェア」6/3(土) 市役所前庭 スタッフ延べ7名

「もりのちず 若葉町・入間町編」と「佐須マップ」の展示と配布・会員提供のリサイクルグッズの販売。体験コーナーとして丸太切りのタイムトライアルを実施、大人から子どもまで35人ほどが参加しました。寄付金含む売上913円。

### ・多摩川自然情報館祭り 11/4(土) 多摩川自然情報館 スタッフ4名

多摩川河原のクズを使ったリース作りで参加。事前に約30余名分のクズ採取。当日は12時までの開催のつもりでしたが盛況のため材料がある2時半頃まで開催し38名の参加となりました。300円の参加費でしたが材料が少なくなってからは100円で受け付け、売上9,600円。スタッフ代と材料費を引いても黒字になりました。

## ③「日本と再生」映画上映会 2/11(土) (担当：大村・江刺)

市民から要望のあった映画上映について主催：調布未来のエネルギー協議会、後援：ちょうふ環境市民会議という形で開催しました。席数100のたづくり映像シアターが満席となりました。

## (2) 活動推進事業

### 佐須PJ (担当：紺野・尾辻 他)

#### ・第1回 9/18(月祝)「おいしい料理で里山の1日」 カニ山 参加者20名 スタッフ7名

子連れのお母さんやカニ山初体験の方もいて大変好評でした。売り上げは28,400円あったものの材料費と講師代を除くとスタッフ代には足りませんでした。

#### ・第2回 10/28(土)「深大寺里山自然散歩」 国領駅～深大寺 参加者11名 スタッフ3名

小池講師のお話も楽しく好評でした。参加費1000円の中から地場野菜をお土産にしました。ゴールの深大寺で解散しましたが、ほとんどの方がいっしょにおそばを食べて帰られました(多摩マリオンに掲載)

#### ・第3回 12/17(日)「しめ縄作って正月用リース飾り」カニ山 参加者31名 スタッフ4名

とても寒い日でしたが飲み物付きで、カニ山でブルーシートを敷いて開催することができました。田んぼの学校の稲を使つての伝統的クラフトは子供から大人まで楽しむことができました。売上14,200円はスタッフ代を引いても黒字となりました。

#### ・第4回 2/3(土)「焚火で作る花炭」 残雪のため中止

## (3) 広報事業 (担当：事務局)

- ・**ちょうふの自然だより 5回発行** カラー版で139～144号を1000部発行。  
発行日にHPにアップしています。環境政策課を通して市内公共施設に配架。喫茶店・クリニックなど4ヶ所に郵送配付すると共に、できるだけ会員団体にも手渡しで配布しました。
- ・**ホームページ（ブログ）** HP基本管理1名（委託）。投稿記事管理・更新は事務局長が担当。検索しやすいHPをめざし、カテゴリ・固定ページテーマの整理を継続中で、調布市イベントとのリンクにも対応しました。
- ・**Facebook ちょうふ環境市民会議** イベント案内など行事予定の記事投稿後には、毎回200名余の閲覧が記録されています。イベント参加申し込みもありました。
- ・**メンバーメーリングリスト** 対象は個人会員・団体会員・サポート会員。事務局からの情報発信がほとんどですが、個人や団体会員からの発信が増えてきました。

#### （４）調査研究・提言活動等

##### ①提言活動について（担当：安部・事務局）

今年度は、環境政策課の人事異動もあり、ちょうふ環境市民会議がこれまで懇談会等で提案・提言等、情報提供してきた内容について相互理解や共有できなかったこともあり、文書での要望・意見具申を下記の通り、環境部長あてに提出しました。

- 1) 9月30日付け「平成30年度予算確保にむけての要望」で6項目について環境部に提出しました。
- 2) 11月20日付け「市所有地等における植物伐採等に関する要望書」を提出し、12月5日付けで回答を受領しました。
- 3) 1月17日付け「環境活動に関する仕組みづくり及び人材育成事業」に関する要望書を提出しました。

##### ②データプロジェクト（担当：石川）

調布市に生育・生息する生き物の実態を把握するため、環境モニターや水辺の楽校、田んぼの学校、身近な川を見守る会、22世紀の森づくり・神代、深大寺弁天池かいぼり報告会などの行政及び市民から提供を受けた調査結果の集約、集計を行いました。2018（平成30）年4月29日時点で1,685種（植物807種、動物829種、菌類その他49種）をリストアップし、内、945種の写真と811種の図鑑掲載種を整理しました。

#### <受託事業>

##### （１）雑木林ボランティア講座運営事業（担当：里・尾辻・中原＋補助スタッフ2名）

受講者16名を対象にボランティア育成を基本目的に全6回連続講座を行いました。

初回は春に開催し「調布の里山・雑木林・過去と現状をテーマ」に午後は野川から佐須深大寺方面を視察。以降、保全作業の実技と安全管理、雑木林の生態系（昆虫・植物）について学び、12月は雑木林の恵みを体験（花炭作り…かまどの火おこし体験）年が明けて1月の最終回は各保全団体の協力を得て管理地等、市内の主な雑木林を視察・午後は活発な意見交換を行い、全回を通

して保全管理の必要性を理解してもらいました。雑木林ボランティアトライアルの成果もあり、5名が活動団体に入会しました。

## (2) 環境保全団体・市民の交流事業 (担当：安部・鍛冶・事務局)

### 第9回環境活動交流会 ～知って守ろう！ 調布の自然～

6月17日(土)・18日(日) 調布市文化会館たづくり2階 北ギャラリー

- ①「調布環境保全団体の活動紹介展」パネル展示・写真・動画 参加団体 24 参加者 約 80 名
- ② 学習会 「緑環境を守るために私達にできること」 参加者 25 名
  - ・国分寺崖線の緑地保全について～世田谷区の事例から学ぶ～  
講師：世田谷区みどり水政策担当部みどり政策課 岩崎係長
  - ・調布市の緑施策の現状報告 講師：緑と公園課 代田課長
- ③ 交流カフェ 「話そう、あんなことこんなこと」 参加者 21 名
  - ・「佐須・深大寺 里山の未来を考えよう」
  - ・「緑環境を守るために私達にできること」

## (3) エコライフ推進プログラム事業 (ゴーヤ苗配布) (担当：江刺・池辺)

6月3日(土)開催の調布市環境フェアに来場した市民を対象にゴーヤ苗 750 株を配布しました。団体会員「身近な川を見守る会」メンバーを中心とした会員の協力で実施。例年に比べ、ゴーヤ以外にも野菜配布などの無料配布物が増えたためか、-ゴーヤ苗を配りきるのに時間がかかりました。今年初めて記録写真の撮影に対して市民からのクレームがでました。調布市への事業報告のためであることを説明しましたが、配付スタッフが「緑のボランティア・市民会議名入りの黄緑色ベストを着用していたので立場が分かり易いと好評でした。

## (4) 人材育成推進事業 (担当：江刺・鍛冶・安部)

- ・人材登録に繋がる取組として、雑木林ボランティア受講者向けに登録アンケートを作成。講座最終回、環境政策課担当者が主旨を説明しアンケートに記入してもらい出席者 11 名全員が登録しました。今後 1 年間、環境政策課及び企画運営受託者である調布環境市民会議から、イベント案内や講座案内等の環境情報の発信を行うところまで進みました。人材育成推進事業受託は今年度で終了。

\*上記(1)～(4)の受託事業はプロジェクト方式で運営しました。

# ■第2号議案 2017年度収支報告

[自2017年4月1日 至2018年3月31日]

単位：円

			予算	実績	予算差		
収入	活動準備金		111,322	111,322	0		
	会費	正会員 個人	55,000	48,000	-7,000	48名	
		正会員 団体	16,000	13,000	-3,000	13団体	
		正会員 法人	12,000	15,000	3,000	5法人	
		サポーター 個人	5,000	8,000	3,000	14名	
		小計	88,000	84,000	-4,000		
	事業	自主事業	95,000	78,837	-16,163	里山PJ/アスティ/環境フェア/わんぱく相撲/ 情報館まつり	
		受託事業	1,059,264	1,059,264	0		
		小計	1,154,264	1,138,101	-16,163		
	寄付金		130,000	118,000	-12,000		
	雑収入		0	0	0		
	収入合計		1,483,586	1,451,423	-32,163		
支出	事業費	自主事業	交流事業費	34,000	21,504	-12,496	アスティ/環境フェア/情報館まつり/わんぱく相撲/ 雑木林連絡会
			活動推進事業費	100,000	62,736	-37,264	里山PJ
			広報事業費	114,000	122,025	8,025	自然だより HP維持管理 ネットメイン
			調査研究・学習費	27,000	15,000	-12,000	デーPJ 提言PJ その他学習PJ
				275,000	221,265	-53,735	
		受託事業		1,059,264	1,059,264	0	全4事業 事務局人件費216,000含む(9000×2名×12)
		小計		1,334,264	1,280,529	-53,735	
	管理費	旅費交通費		19,000	26,210	7,210	
		会議費		10,000	8,450	-1,550	総会 理事会
		通信費		2,000	250	-1,750	
		事務用品・消耗品		5,000	6,389	1,389	
		雑費		0	0	0	
		事務局人件費		41,000	41,000	0	会計 メールリスト管理
		小計		77,000	82,299	5,299	
	支出合計			1,411,264	1,362,828	-48,436	
差 引 (収入—支出)				72,322	88,595		
特別	記録誌積立			5,000	5,000		
会計	什器備品積立(カメラ等電子機器)			5,000	5,000		
	小計			10,000	10,000		
次年度活動準備金				62,322	78,595		
<b>特別会計積立金累計</b>							
			2016年度まで	2017年度	累計		
記録紙積立			20,000	5,000	25,000		
什器備品積立			25,000	5,000	30,000		
PC機器積立			48,000	50,000	98,000	※受託事業費より充当	

## ■第3号議案 2017年度監査報告

2018年5月8日、会計担当理事の立ち会いのもと、監査を行いました。

1. 2017年度収支報告に相違はありません。
1. 領収書等証票類に間違いはありません。
1. 業務執行は適切に行われています。

2018年5月8日

監事 赤川 忠明



## ■第4号議案 2018年度事業計画（案）

○規約にかかげた活動目的・方針にもとづき、活動を楽しく行います。

- ・東日本大震災後、都市に住む市民の暮らし方が問われています。暮らしを根本から見直し行動する「私から始めるエコライフ」の活動に引き続き取り組みます。
- ・調布市の自然環境をはじめとする「環境」について、環境を考える市民・事業者・団体に向けて活動で得られた情報や知恵を共有できるよう連携して活動していきます。
- ・市民・活動団体・企業等との連携を図るプラットフォームとしての役割を担う上で必要となる、市民向け環境情報の受発信の基地等についても検討していきます。
- ・予算要望活動により、これまでの環境学習交流推進事業委託の他に、新たに①環境基本計画を実効性のある計画とするための「協働推進事業」、②深大寺・佐須の公有地有効活用事業、③崖線ウォークイベント事業、④緑地保全のための先進事例を学ぶ事業の業務受託など、環境市民会議の役割と責任が大きくなりました。今後、プロジェクト(PJ)ごとに事業実施に取り組みます。これら多岐にわたる委託事業や自主事業を継続していくプロジェクトチーム(PJ)には、多くの会員のご協力をお願いします。
- ・今後も継続して環境保全活動を担う人材確保のため組織運営の再構築についても検討します。

### <自主事業>

#### (1) 交流事業

- ・各種イベント参加による、ちょうふ環境市民会議の活動紹介と交流
- ・コーディネート活動（雑木林連絡会事務局 その他活動支援など）

#### (2) 活動推進事業

- ・環境活動イベントの開催・PRについては、環境について興味を持ってもらえるような工夫をしていきます。また例年大変好評なしめ飾りづくりは今年度も開催予定です。

#### (3) 広報事業

- ・自然だよりの発行(年4回～)



- ・WEBによる広報（メーリングリスト、HP、フェイスブックなどで情報発信）

#### （４）調査研究

- ・動植物データ収集。活用の方針と仕組みをデータプロジェクトとして検討します。

#### （５）提言活動

- ・環境基本計画の実施状況等のみならず、環境全般について会員皆がアンテナを高くし、得た情報の中から課題となる事項を取り上げ政策提言等を行っていきます。

### <受託事業>

#### （１）雑木林ボランティア講座運営事業

- ・年間６回程度の講座の企画運営、広報物作成(チラシ・自然だより等での講座PR)
- ・(冊子)ボランティア講座案内パンフレットの活用

#### （２）環境保全団体・市民の交流事業

6/29(金)・30(土)・7/1(日)「ちょうふ再発見～自然とまち」第10回環境環境活動交流会を市文化会館たづくり2F南ギャラリーで開催。内容はワークショップ・交流カフェ・活動紹介等の展示。テーマは、「調布の自然のいいところ」を皆さんに知って欲しい。そのために調布の自然景観についての語り合いやInstagramによる「こんなところもあったの？調布の自然百景」フォトコンテストを行います。一般の方にも楽しんでもらえるような展示の工夫など詳細は運営会議で企画していきます。

#### （３）エコライフ推進プログラム事業（ゴーヤ苗配布）詳細

6/2(土)市役所前庭で開催の環境フェアにおいてゴーヤ苗の配布(800株)を行います。ただし6/2が雨天の場合は6/4(月)に配布を行います。

#### （４）自然環境活用事業

一昨年作成した「もりのちず」に引き続き、深大寺・佐須地区を含む市内中央部の自然環境案内マップ作成に向けた検討を行います。

#### （５）深大寺佐須地域環境資源管理・活用事業

里山の景観保全、都市農業の持続可能なシステムの検討等を行い、作業体験を含むワークショップを通じて環境学習のフィールドおよび農地として多面的活用を図るため、深大寺佐須地域の市取得用地を２年間暫定活用する。①環境学習事業 ②環境整備事業

#### （６）環境基本計画協働推進検討事業

- ① 環境リーダー等育成のための仕組みづくりの検討
- ② 環境活動ボランティア支援の仕組みづくりの検討
- ③ 市民団体等が主体となって環境活動を実施する仕組みづくりの検討

④ 自然環境尾情報のデータベース化に向けた仕組みづくりの検討

**(7) 調布市崖線ウォークイベント事業**

崖線を知る、及びその保全活動の必要性や活動参加への関心を高め、人材育成、環境教育の一環として実施する。

**(8) 緑地保全のための先進事例学習事業**

緑地保全のための先進事例を市民団体・行政と共に学び情報を共有する。

# ■第5号議案 2018年度予算(案)

[自2018年4月1日 至 2019年3月31日]

単位: 円

			前年決算額	18年予算	内訳
収入	活動準備金		111,322	78,595	
	会費	正会員 個人	48,000	50,000	50名
		正会員 団体	13,000	13,000	13団体
		正会員 法人	15,000	15,000	5法人
		サポーター 個人	8,000	8,000	16名
		小計	84,000	86,000	
	事業	自主事業	78,837	25,000	アースティ/環境フェア/情報館まつり5,000×3 わんぱく相撲10,000
		受託事業	1,059,264	2,636,820	
		小計	1,138,101	2,661,820	
	寄付金		118,000	120,000	
	雑収入		0	0	
		収入合計	1,451,423	2,946,415	
支出	事業費	自主事業	21,504	31,000	アースティ/環境フェア/情報館まつり 5,000×3 雑木林連絡会6,000 わんぱく相撲10,000
		活動推進事業費	62,736	5,000	自主イベント1回
		広報事業費	122,025	101,000	自然だより(3回)45,000 HP維持管理48,000 ネットサイン8,000
		調査研究費	15,000	22,000	デーカPJ スタッフ10,000 サーハ7000 その他学習5000
			221,265	159,000	
		受託事業	1,059,264	2,636,820	全8事業 事務局人件費216,000含む(9000×2名×12)
		小計	1,280,529	2,795,820	
	管理費	旅費交通費	26,210	25,000	理事会出席交通費
		会議費	8,450	8,500	総会関連 理事会資料等
		通信費	250	1,000	資料郵送等
		事務用品・消耗品	6,389	6,000	
		雑費	0	0	
		事務局人件費	41,000	41,000	会計3,000×12 Mリスト管理5,000
		小計	82,299	81,500	
		支出合計	1,362,828	2,877,320	
		差引(収入-支出)	88,595	69,095	
特別	記録誌積立		5,000	5,000	
会計	什器備品積立		5,000	5,000	
		小計	10,000	10,000	
	次年度活動準備金		78,595	59,095	